

【高等学校用】

令和2年度学校評価計画

学校名	佐賀県立佐賀工業高等学校(定時制)
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・資格等取得するためには、基礎学力も必要になってくる。授業等を通じて基礎学力の定着を図っていききたい。 ・問題行動の始まりは給食を食べないことなので、今後も喫食率の向上を目指す。また、食育講話を実施し、きちんとした食生活の習慣を身に付けさせたい。 ・今後も継続して各種講話を実施し、豊かな人間性を育成する教育を推進していく。
2 学校教育目標	<p>歴史に培われた伝統に学びながら、21世紀を担う平和で民主的な社会の形成者として、人間愛に満ちた心身共に健全で逞しい工業技術者を育成する。</p> <p>校訓 「至誠剛健」(誠実で心身ともに逞しく)</p>
3 本年度の重点目標	<p>"ものづくり"から"人づくり"そして"未来づくり"</p> <p>ア 規律ある高校生活の定着 イ ものづくり教育の推進 ウ 開かれた学校づくりの推進</p>

4 重点取組内容・成果指標				主な担当者
(1)共通評価項目				
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	○わかる授業の実践と学習意欲の向上	○普通教科における基礎的な学力の育成 ○学びの基礎診断における国・数の平均50点以上。	・学びの基礎診断を利用し、生徒の学力を把握するとともに個々の学力に応じた基礎的な内容や一般常識の学習を授業に取り入れる。	教務主任
	○資格取得への意欲向上と取得者数の増加を図る。	○各資格取得の広報をしっかり行い、計画を立てる。 ○各資格の合格率の目標設定	・始業前、課後の補習の時間を確保する。 ・生徒の理解度に合わせた個別指導を行う。	教務主任
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「相手を思いやる」や「命の尊さを再認識した」と考える生徒100%。	・「エイズ予防講話」、「性に関する指導講話」を全学年実施する。	保健主事
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「未然防止」「早期発見」「早期対応」に向けた体制の推進。 ○いじめを「しない」「させない」「ゆるさない」心を育成する教育。	・アンケート調査ならびに担任による面談を年3回実施する。 ・全職員による覚知と認知に関わる情報の共有化を図る。	生徒指導主事
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	○「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む。	・開校記念日に「高校生向け郷土学習映像資料」を使用し、幕末期の佐賀について学ぶ機会をつくる。 ・学校近辺の史跡をめぐり、佐賀を知る機会をつくる。	総務担当
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」 ⑤「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○給食喫食率80%以上を目指す。 ○望ましい食習慣の定着を目指す。 ③「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上。 ○感染症、食中毒等を防ぐための自己管理能力の育成。	・食育講話を実施。食に対する重要性を説き、喫食を促す。 ・給食アンケートを2回実施し反映する。 ・グリッターペグを使った手洗い指導の実施。	保健主事
	○教育相談の充実	○全職員で情報を共有し、SCとも連携し、組織的・機動的な体制をつくる。	・担任・副担任と教育相談担当やスクールカウンセラーとの連絡を密にし、職員が共通理解を図りながら指導・相談にあたる。 ・月1回の職員会議において職員が情報提供し、組織的教育相談の体制を確立する。	保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 事務室と連携し、単純な前例踏襲ではない効率的な業務遂行を工夫	・始礼や業務上のコミュニケーションを大事にし、それぞれの業務の進捗等の情報共有をし、職員間のフォロー体制を強化する。	管理職
	○職場(職員間)の雰囲気活性化	○職員が自己肯定感を高めるられるように、「承認」する考え方を広げる。	・声の掛け合い、お互いを承認し合う雰囲気づくりを行い、職員同士が組織的に活動しやすい環境を確立する。	管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組 重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○進路指導の充実 (独自評価項目・任意)	○進路希望の実現	○生徒・保護者にとって満足度の高い進路実現(進路決定100%)。 ○進路意識の高揚と職業観・勤労観の育成と定着。	・生徒の能力・適性・希望に合った進路先の情報提供と適切な指導助言に努める。 ・在学中の就業率向上と職業講話などを通して職業観・勤労観の育成と定着を図る。	
○ものづくり教育推進	○資格取得(実技を伴う)	○資格取得 計算技術検定合格率80%以上 パソコン利用技術検定合格率70%以上 電気工事士合格率50%以上 危険物取扱者試験合格率40%以上	・補習の実施 ・遅れ気味の生徒への対応	機械科主任 電気科主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育